

2. 指標設定

成果指標	指標名	市民との情報の共有化		目標年度	指標の設定理由			
	数値				総合計画／後期基本計画において、7-1-1 情報を適切に管理し、共有化を進める			
活動指標	指標	a	広報事業	b	声のひろば事業	c		d
	数値	目標	年12回発行	目標	全自治区にて開催	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
市民との情報の共有化		-	-	-
		-	-	-

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 広報事業	回	12 回	12 回	12 回
	%	100.0 %	100.0 %	100.0 %
b 声のひろば事業	回	18 回	88 回	25 回
		-	-	-
c		-	-	-
		-	-	-
d		-	-	-
		-	-	-

4. 課題と対応

課題
協働によるまちづくりを目指し、市民と情報の共有化を図らなければならない。CATVとの情報提供の連携を図り、情報の重複等为避免、効率性を高める。
対応（改善点等）
ICT(フェイスブック等)の活用について検討する。 平成24年度から市報ぶんごおのページ数の減を図っている。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

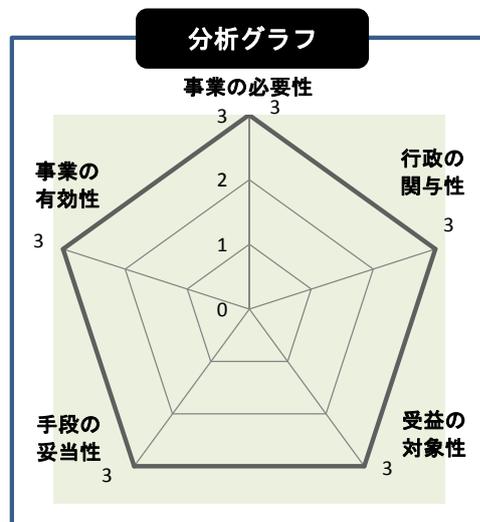
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		14,366	11,900	10,992	12,274
うち経常経費		14,366	11,900	10,992	12,274
財源内訳	国費				
	県費	43			
	市債				
	その他	477	42	690	692
	一般財源	13,846	11,858	10,302	11,582
うち経常		13,846	11,858	10,302	11,582
事業費に係る人件費		11,825	10,320	9,876	10,025
事業費に係る人役		2.70	2.40	2.30	2.30

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市報ぶんごおのページ数平均24ページを維持(本年度、CATVとの連携を図り、ページ数の削減を行った。H23→H24減額)

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 広く情報提供をするため。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 行政情報を取り扱うため。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 おおむね広く享受できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために必要な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 本市が目指す協働のまちづくりの基本となる、情報の共有化の柱として、非常に有効である。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	効率的な市政等の情報発信をおこなうため、CATVとの連携、HPの適切な運営等を行うとともに、市民の声を聞く機会等の確保に努めること。